

会 議 録

1 会議名

平成27年度第5回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- 報告事項 (1) 新市建設計画の変更に係る答申に対する通知について（公開）
- 協議事項 (1) 地域活動支援事業（全体）に係る課題及び改善策等について（公開）
(2) 地域活動支援事業（牧区）に係る課題及び改善策等について（公開）
- その他 (1) 大学生の力を活かした集落活性化事業の経過について（公開）
(2) 連絡事項
 - ① 地域協議会視察研修について（公開）

3 開催日時

平成27年9月25日（金）午後6時30分から午後7時10分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委員：丸山 進（会長）、西山新平（副会長）、飯田秀治、五十嵐正則、
岩崎 弘、金井貞子、佐藤健一、佐藤優一、中川よしえ、難波一仁、
横尾清一、渡辺喜一
- ・ 事務局：牧区総合事務所 横田所長、平田次長、橋詰市民生活・福祉グループ長、
宮腰班長、小林班長、近藤主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【平田次長】

- ・ 会議の開会を宣言。
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【丸山 進会長】

・挨拶

【横田所長】

・挨拶

【丸山 進会長】

・会議録の確認 渡辺喜一委員に依頼する。

【丸山 進会長】

次第3 報告事項（1）「新市建設計画の変更に係る答申に対する通知について」、事務局から説明を求める。

【小林班長】

資料N o 1により説明する。

【丸山 進会長】

委員に意見を求めるが無く、報告事項（1）については以上とする。

次第4 協議事項（1）「地域活動支援事業（全体）に係る課題及び改善策等について」と、関連する協議事項（2）「地域活動支援事業（牧区）に係る課題及び改善策等について」、事務局から説明を求める。

【小林班長】

各委員に提出を依頼した地域活動支援事業全体に係る課題等について、意見が無かったので「該当なし」で自治・地域振興課へ報告したい。また、協議事項（2）の牧区の課題等については、資料N o 2の下段に記載されている課題が提案されているので、協議をお願いしたい。

【丸山 進会長】

協議事項（1）の全体に係る課題等については、各委員から提出されていないということなので、それでよろしいですか。

（はいの声）

それでは、協議事項（2）牧区の課題等について提案されているので、提案者の佐藤優一委員に説明を求める。

【佐藤優一委員】

資料N o 2に記載されたとおりだが、一番気になっているのは毎年、何年も続けてほとんど同じような内容で事業が提案され、その取り組みについて100%助成されていることであり、もしこの補助金が無くなったときには、今まで積み上げてきた事業を継続して実施していけるのかどうか、疑問視される事業が何件かあるように思われる。

他の地区協議会では上限を定めるなどして、計画した事業が自主的に自立して実施されていくような方向性を含んだ対応をされていることも承知しており、継続することは100%駄目だと言う認識には立っていない。制度的にも制限されていないとみているが、特定の地域に限って実施されるような事業については、少し考えた方が良いのではないかと思う。今までの取り組んできたことが全て駄目だという認識ではないが、今後のことを考えると牧区全体に関わるような事業のことに、視点をおいていただくような

点が出てきても良いのではないか。具体的にいえば、補助金が無くなったとしても支援を受けてきた事業については、多少の縮小はあっても自立して継続していけるのか協議会として検証していかなければならないのではないか。みなさんご意見をお聞きしたい。

【丸山 進会長】

現在の対応について、事務局から説明を求める。

【小林班長】

複数年度に渡る事業の提案は可能だが、他の自治区においては、前年度と同一内容の事業が提案された場合は、補助率を下げる等の対応を行っている区もある。

牧区においても牧区採択方針（２）において「既存事業においては、これまでの懸案事項や問題点を解決するための新しい工夫が追加されていること」が○×の審査項目となっている。また、共通審査項目の①公益性、②必要性、③実現性、特に複数年度に渡る事業について⑤発展性において、「新たな取り組みの視点はあるか」「助成事業終了後における継続性や自立性、発展性は期待できるか」という観点での採点審査であり、総得点による傾斜配分率により対応している。

【丸山 進会長】

この件については、来年度の事業採択方針を１月頃に地域協議会で決定することとなりますが、みなさんの率直な意見を出していただきたい。

【佐藤健一委員】

来年度、この事業が継続され実施されるのかお聞きしたい。

【横田所長】

自治・地域振興課では、地域活動支援については市長の公約になっているもので、来年度も実施したいとのことである。

【丸山 進会長】

以前にも同様な意見が協議会であり、改善策として傾斜配分を取り組んできているが、どの程度加味されているかは委員の判断によることである。

【佐藤健一委員】

牧区の事業については、佐藤優一委員が言われたとおり固定化されているような事業が重なってきているように思う。マンネリ化した事業が今後地域の活性化支援に十分につながっていくのか、考える余地はある。審査票については、自分なりにその観点により評価しているが、もう少し牧区全体にかかわる事業が提案されればと思っている。

【岩崎 弘委員】

各協議会の状況を新聞等で見ているが、牧区の場合は追加募集が少ないが、追加募集を再三行っている区もあるように見受けられる。牧区だけではなく市全体で、この事業への積極的な取り組みが少なくなっているように思う。もっこの事業を市全体として、アピールすることが必要ではないかと思う。

【横尾清一委員】

先ほど説明いただいた佐藤委員のご意見には同感だ。他の区では、区の事業費が満たさなくても不採択ということも結構あるようだ。牧区の採択基準でかなり×をつけても採択されることがあることから、少し考える余地はあると思う。同じような事業が毎年同じ地区から提案されているのが現実であり、その辺をもう少し留意しながら審査して

いかなければならないと思う。

【丸山 進会長】

この件については、最初に申し上げたとおり検討する部分があり、みなさん方から時間をおいて考えをまとめていただき、1月の地域協議会で次年度の採択方針を検討したい。そのような方法でよいか。

(はいの声)

では、この件については1月に地域協議会で検討することとする。

次第5その他(1)「大学生の力を活かした集落活性化事業の経過について」事務局から説明を求める。

【小林班長】

第4回地域協議会で報告した本事業について、事業主体である岐阜大学、名古屋市立大学の教授、大学生ほか総勢19名のみなさんが9月20日から23日までの間、川上笑学館を宿泊地として川上地区の高齢者22世帯を2名9班で訪問調査を実施した。今回の調査研究を基に、川上地区のみなさんへの調査報告会を12月7日(月)に開催する予定であり、地域協議会委員の方からも参加をお願いしたい。

【丸山 進会長】

この件については、先回の協議会で報告のあった川上地区での現地調査についての状況報告であり、12月7日に川上地区で開催される調査報告会に、委員のみなさんから参加していただき状況等を確認していただきたい。

委員に質問等を求めるが無く、その他(1)については以上とする。

その他(2)連絡事項①「地域協議会視察研修について」事務局の説明を求める。

【小林班長】

資料N o 3により説明する。

【丸山 進会長】

委員に質問等を求めるが無く、その他(2)連絡事項①については以上とする。

その他、委員からの意見等を求めるが無く、会議の閉会を宣言する。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。